

# 母性看護学・助産学分野年報 No.6

Activity Report on Department of Midwifery and Women's Health

平成 19 年度

2007.4-2008.3

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻  
母性看護学・助産学分野

Department of Midwifery and Women's Health,  
Division of Health Sciences & Nursing,  
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

# 目 次

1. はじめに	1
2. 研究業績	2
(1) 原著・報告	
(2) 総説・解説など	
(3) 著書・報告書	
(4) 学会発表	
(5) 受賞	
3. 受賞	4
4. 研究活動	5
(1) 抄読会	
(2) 母性看護学・助産学研究報告会	
(3) 研究会・勉強会	
■ シフラの会	
■ 「助産師外来」勉強会	
(4) 研究プロジェクト	
(5) 研究交流促進	
5. 教育活動	12
(1) 学部講義	
(2) 学部実習	
(3) 大学院特論	
6. 学内外での活動	19
(1) 学内の活動・役割	
(2) 学外での活動・役割	
(3) その他(学内外における講義・講演など)	
7. 教室日誌	21
8. 教室員名簿	22

## 1. はじめに

母性看護学・助産学分野は、平成14年6月に新たに設置されてから6年目を迎えました。

助産学教育課程は開設より3年目となり、実習先では卒業生が後輩の指導にあたってくれるようにもなりました。今年度は1名の修了者を助産師として送り出すことができました。

周産期を中心とした研究プロジェクトも、徐々に成果を形にしつつあり、ようやくこれまで行ってきた研究の成果を各人が論文として国内外へ発信できるようになりました。その中でも『平成19年度 日本助産学会学術賞』をはじめとし、3つの研究が受賞されました。

今年度もvisiting professorとして、米国North Carolina大学Chapel Hill校の余善愛先生、ノルウェイStavanger大学のElisabeth Severinsson先生をお迎えし、研究発表会、勉強会、研究相談を実施し、学术交流や共同研究を継続して行うことができました。

また修士課程1年生が中心となって、助産師外来についての勉強会を開催し、東大病院での発表を行い、大学病院との連携も深めつつあります。

平成19年度の構成員は、教授（兼担）1名、講師2名、助教1名、大学院生博士課程3名、修士課程4名、研究生1名、非常勤講師10名、東大病院からの講師（医師、助産師）、事務員1名、研究補助1名でした。

今後は研究・教育の成果を社会に還元できるように、教室内外において研究や教育に関する情報発信や情報交換を積極的に行っていくことを目指しています。

## 2. 研究業績 (2007. 4. ~ 2008.3)

### (1) 原著・報告

渡辺悦子, 李廷秀, 川久保清, 丸井英二  
女性の出産前後における体重変化と生活習慣の変化との関連  
民族衛生, 74(1):3-12, 2008.

Erika Ota, Megumi Haruna, Hideki Yanai, Motoi Suzuki, Dang Duc Anh, Masayo Matsuzaki,  
Le Huu Tho, Koya Ariyoshi, SeonAe Yeo, Sachiyo Murashima.  
Reliability and validity of the Vietnamese version of the pregnancy physical  
activity questionnaire (PPAQ).  
Southeast Asian Journal of Tropical Medicine and Public Health, 39(3):May 2008  
(in press) .

Masayo Matsuzaki, Megumi Haruna, Erika Ota, Satoshi Sasaki, Yasushi Nagai, Sachiyo  
Murashima.  
Dietary folate intake, use of folate supplements, lifestyle factors, and serum  
folate levels among pregnant women in Tokyo, Japan.  
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. (in press)

### (2) 総説・解説など

春名めぐみ (編著), 松崎政代, 大田えりか, 中山香映, 岡本美香子, 白石美恵, 西岡笑  
子 (著), 渡井いずみ (監修) 東京大学 男女共同参画オフィス 東大の子育て支援 ウ  
ェブサイト 東京大学の教職員・学生のみなさまへ 妊娠中の健康管理について  
—助産師がよくある疑問にお答えします。— 2007年12月  
<http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/office/support/documents/kenkoukanri.pdf>

### (3) 著書・報告書

春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子, 村嶋幸代, SeonAe Yeo  
乳児を抱える母親への健康生活プログラムとその効果—地域でのランダム化対照試験—  
平成17, 18, 19年度 科学研究費補助金 基盤研究B 研究報告書

松崎政代, 春名めぐみ, 大田えりか  
妊婦の日常生活身体活動とそれに及ぼす影響要因に関する研究  
—妊婦身体活動質問紙と運動に関する地域環境調査票の日本語版開発—  
平成19年度 日本助産学会研究助成金 (委託研究助成) 研究報告書

松崎政代, 春名めぐみ  
妊娠高血圧症候群妊婦の酸化ストレスと日常生活習慣の現状  
平成19年度・木村看護教育振興財団 研究助成金 研究報告書

#### (4) 学会発表

Megumi Haruna, Masayo Matsuzaki, Erika Ota, Takashi Tanizaki, Kyouichi Sekine, Sachiyo Murashima.

Increased serum Coenzyme Q<sub>10</sub> during pregnancy correlates to birthweight.

5th Congress of the International Coenzyme Q<sub>10</sub> Association, Kobe Japan, 2007, 11. 9-11.

津田万里子, 影山初子, 辻順子, 村山陵子, 青木和夫, 久保田富夫

妊娠経過に伴う睡眠の違いと季節性

第48回日本母性衛生学会, 茨城県 つくば国際会議場

2007年10月11日~12日

村山陵子, 久保田富夫, 木暮貴政, 青木和夫

睡眠姿勢指示が姿勢変化と睡眠パラメータに及ぼす影響についての研究

日本睡眠学会第32回定期学術集会, 第14回日本時間生物学会学術集会合同大会, 東京都 京王プラザホテル

2007年11月7日~9日

渡辺悦子, 李廷秀, 川久保清

核家族世帯における父の同居・母の就業状態別にみた母親と幼児の生活と肥満の現状

第66回日本公衆衛生学会, 愛媛県 愛媛県県民文化会館

2007年10月24日~26日

大田えりか, 春名めぐみ, 松崎政代, 本田由佳, 村嶋幸代

生体インピーダンス法による妊娠中と産後1か月の体脂肪量の推移とその関連要因

第27回日本看護科学学会学術集会, 東京都 東京国際フォーラム

2007年12月7日~8日

Erika Ota, Megumi Haruna, Masayo Matsuzaki, Yuka Honda, Yasushi Nagai, Sachiyo Murashima.

Risk factors of healthy pregnant women associated with occurrence of low birth weight infants in Japan (Oral presentation)

11th East Asian Forum on Nursing Science Annual Conference in Taiwan,

2008, 29 Feb.

中山香映, 春名めぐみ, 松崎政代, 村嶋幸代

妊娠, 分娩, 産褥期の血液および唾液中 13, 14-dihydro-15-keto-prostaglandin F<sub>2α</sub> の推移

第27回日本看護科学学会学術集会, 東京都 東京国際フォーラム

2007年12月7日~8日

中山香映, 春名めぐみ, 松崎政代

妊娠, 分娩, 産褥期の唾液中 13, 14-dihydro-15-keto-prostaglandin  $F_{2\alpha}$  (PGFM) の推移  
第 22 回日本助産学会学術集会, 兵庫県 神戸国際会議場  
2008 年 3 月 15 日~16 日

Masayo Matsuzaki, Takashi Tanizaki, Megumi Haruna, Yoko Hasumi, Kyouichi Sekine, Sachiyo Murashima.

Ubiquinol and Ubiquinone levels in Umbilical cord blood of healthy newborn and venous blood of their mothers.

5th Congress of the International Coenzyme  $Q_{10}$  Association, Kobe Japan, 2007, 11.9-11.

本田由佳, 深山知子, 山口いずみ, 阪本要一, 上田康夫, 池田義雄

思春期女性の初経発来と体組成, 体格, 骨密度との関連性および体型意識についての検討

第 28 回日本肥満学会, 東京都 都市センターホテル

2007 年 10 月 19 日~20 日

### 3. 受賞

#### ◆日本助産学会で『平成 19 年度 日本助産学会学術賞』受賞

松崎政代, 春名めぐみ, 大田えりか, 渡辺悦子, 村山陵子, 塚本浩子  
妊娠中の酸化ストレスマーカーとしての尿中バイオピリン  
助産学会誌, 20(2): 40-49, 2006.

#### ◆第 5 回国際 CoQ10 学会で『One of the honorary works』受賞(黄金 2 万円)

1. Megumi Haruna, Masayo Matsuzaki, Erika Ota, Takashi Tanizaki, Kyouichi Sekine, Sachiyo Murashima.

Increased serum Coenzyme  $Q_{10}$  during pregnancy correlates to birthweight.

5th Congress of the International Coenzyme  $Q_{10}$  Association, Kobe Japan, 2007, 11.9-11.

2. Masayo Matsuzaki, Takashi Tanizaki, Megumi Haruna, Yoko Hasumi, Kyouichi Sekine, Sachiyo Murashima.

Ubiquinol and Ubiquinone levels in Umbilical cord blood of healthy newborn and venous blood of their mothers.

5th Congress of the International Coenzyme  $Q_{10}$  Association, Kobe Japan, 2007, 11.9-11.

## 4. 研究活動

### (1) 抄読会 (毎週火曜日・地域看護学の抄読会へ参加)

平成 19 年度, 抄読会において紹介された文献および紹介者は以下の通りである。

前期 2007. 4/10～ 7/10, 後期 9/18～ 2008. 3/18

月 日	担 当	内 容
4 月 10 日	村嶋幸代	平成 19 年度の開始に当たって
4 月 17 日	大田えりか	Osrin D. Vaidya A. Shrestha Y. Baniya RB. Manandhar DS. Adhikari RK. Filteau S. Tomkins A. Costello AM. Effects of antenatal multiple micronutrient supplementation on birthweight and gestational duration in Nepal: double-blind, randomised controlled trial. <i>Lancet</i> . 365(9463):955-62, 2005 12-18. (クリエイター: 有本梓)
	鈴木樹美	M2 修論進捗状況報告: 病棟看護師の退院支援に関する教育プログラムの作成とその効果
4 月 24 日	横山由美	Skotko B. Mothers of children with Down syndrome reflect on their postnatal support. <i>Pediatrics</i> . 115(1):64-77, 2005. (クリエイター: 渡辺悦子)
	戸村ひかり	M2 修論進捗状況報告: 退院支援看護師の専門技術の明確化 -医療依存度の高い個別ケースへの在宅復帰支援に焦点をあてて-
5 月 8 日	中山香映	Albers LL. Sedler KD. Bedrick EJ. Teaf D. Peralta P. Midwifery care measures in the second stage of labor and reduction of genital tract trauma at birth: a randomized trial. <i>Journal of Midwifery &amp; Women's Health</i> . 50(5):365-72, 2005. (クリエイター: 春名めぐみ)
	深町美那穂	M2 修論進捗状況報告: 双子を育てる母親が感じる育児に対する肯定的な感情とその関連要因-乳幼児期に焦点をあてて-
5 月 15 日	村山洋史	Winkleby M. Cubbin C. Ahn D. Effect of cross-level interaction between individual and neighborhood socioeconomic status on adult mortality rates. <i>American Journal of Public Health</i> . 96(12):2145-53, 2006. (クリエイター: 村山陵子)
	渡邊麻衣子	M2 修論進捗状況報告: 心臓血管術後患者会におけるセルフケア能力と健康関連 QOL (SF-36) の検討~ソーシャルサポートに焦点をあてて~
5 月 22 日	新井志穂	Takeuchi DT. Zane N. Hong S. Chae DH. Gong F. Gee GC. Walton E. Sue S. Alegria M. Immigration-related factors and mental disorders among Asian Americans. <i>American Journal of Public Health</i> . 97(1):84-90, 2007. (クリエイター: 横山由美)
	野尻直美	M2 修論進捗状況報告: 北海道北部における訪問看護ステーション誘致と自治体に関わる影響の解析
5 月 29 日	岡本美香子	Homer CS. Davis GK. Cooke M. Barclay LM. Women's experiences of continuity of midwifery care in a randomised controlled trial in Australia. <i>Midwifery</i> . 18(2):102-12, 2002. (クリエイター: 大田えりか)
	関根綾希子	M2 修論進捗状況報告: 雪国の働き盛り男性における生活習慣の実態と健康管理能力との関連
6 月 5 日	成瀬昂	Stephens MA. Franks MM. Atienza AA. Where two roles intersect: spillover between parent care and employment. <i>Psychology &amp; Aging</i> . 12(1):30-7, 1997. (クリエイター: 田口敦子)
	大田えりか	D2 博論進捗状況報告: ベトナムにおける妊婦の Body Mass Index 別の体重増加による周産期リスク調査

月 日	担 当	内 容
6月12日	馬場千恵	Silver EJ. Heneghan AM. Bauman LJ. Stein RE. The relationship of depressive symptoms to parenting competence and social support in inner-city mothers of young children. <i>Maternal &amp; Child Health Journal</i> . 10(1):105-12, 2006. (クリティーク：村山洋史)
	松永篤志	M2 修論進捗状況報告： ゲイ男性・バイセクシャル男性の性行動に影響を与える要因について
6月19日	島村珠枝	Duyan V. Kurt B. Aktas Z. Duyan GC. Kulkul DO. Relationship between quality of life and characteristics of patients hospitalised with tuberculosis. <i>International Journal of Tuberculosis &amp; Lung Disease</i> . 9(12):1361-6, 2005. (クリティーク：永田智子)
	村山陵子	話題提供：助産師外来に期待すること -大学病院における「助産師による外来」に焦点をあてて-
6月26日	酒井優	Cohen GD. Perlstein S. Chapline J. Kelly J. Firth KM. Simmens S. The impact of professionally conducted cultural programs on the physical health, mental health, and social functioning of older adults. <i>Gerontologist</i> . 46(6):726-34, 2006. (クリティーク：村嶋幸代)
	島村珠枝	話題提供：ロサンゼルスでの結核看護研修報告
7月3日	西岡笑子	Chen YC. Wu YC. Chie WC. Effects of work-related factors on the breastfeeding behavior of working mothers in a Taiwanese semiconductor manufacturer: a cross-sectional survey. <i>BMC Public Health</i> . 6:160, 2006. (クリティーク：中山香映)
	村山洋史	D2 博論進捗状況報告： 地域におけるインフォーマル組織とのネットワーク体制の構築とその効果に関する研究-地域包括支援センターにおけるネットワークづくり-
7月10日	白石三恵	Siega-Riz AM. Promislow JH. Savitz DA. Thorp JM Jr. McDonald T. Vitamin C intake and the risk of preterm delivery. <i>American Journal of Obstetrics &amp; Gynecology</i> . 189(2):519-25, 2003. (クリティーク：臺有桂)
	戸村ひかり	学会予行：統合失調症をもつ重度重症筋無力症患者への病棟看護師による退院に向けた支援過程
	村山洋史	健康推進員組織と行政との関係性からみた健康推進員の活動への意識
9月18日	島村珠枝	Hansel NN. Wu AW. Chang B. Diette GB. Quality of life in tuberculosis: patient and provider perspectives. <i>Quality of Life Research</i> . 13(3):639-52, 2004. (クリティーク：村山洋史)
	野尻直美	M2 修論中間報告： 北海道北部における訪問看護ステーション誘致が自治体に及ぼす影響の解析
	戸村ひかり	退院支援看護師の専門技術の明確化 -医療依存度の高い個別ケースへの在宅復帰支援に焦点をあてて-
9月25日	成瀬昂	Mohseni M. Lindstrom M. Social capital, trust in the health-care system and self-rated health: the role of access to health care in a population-based study. <i>Social Science &amp; Medicine</i> . 64(7):1373-83, 2007. (クリティーク：中山香映)
	松永篤志	M2 修論進捗中間報告： ゲイ男性の「ゲイであること」に対する認識の変化について
	渡邊麻衣子	心臓血管術後患者の在宅におけるセルフケア能力と健康関連 QOL の関連要因 ～ソーシャルサポートに焦点をあてて～ (仮)

月 日	担 当	内 容
10月2日	白石三恵	Gupta P. Narang M. Banerjee BD. Basu S. Oxidative stress in term small for gestational age neonates born to undernourished mothers: a case control study. <i>BMC Pediatrics</i> . 4:14, 2004. (クリティーク: 大田えりか)
	鈴木樹美 関根綾希子	M2 修士論文中間報告: 病棟看護師の退院支援教育プログラムの作成とその効果 農村部の中年期男性への効果的な健康づくり支援に関する研究 -食生活に注目した介入ポイントの検討-
10月9日	新井志穂	Rosmond R. Nilsson A. Bjorntorp P. Psychiatric ill health and distribution of body fat mass among female immigrants in Sweden. <i>Public Health</i> . 114(1):45-51, 2000. (クリティーク: 馬場千恵)
	酒井優	Abrams RC. Lachs M. McAvay G. Keohane DJ. Bruce ML. Predictors of self-neglect in community-dwelling elders. <i>American Journal of Psychiatry</i> . 159(10):1724-30, 2002. (クリティーク: 有本梓)
10月16日	横山由美	Clausson E. Petersson K. Berg A. School nurses' view of schoolchildren's health and their attitudes to document it in the school health record—a pilot study. <i>Scandinavian Journal of Caring Sciences</i> . 17(4):392-8, 2003. (クリティーク: 西岡笑子)
	田口敦子	話題提供: 訪問看護事業の報酬体系・提供体制のあり方に関する調査研究事業
10月23日	馬場千恵	Johnston BD. Huebner CE. Anderson ML. Tyll LT. Thompson RS. Healthy steps in an integrated delivery system: child and parent outcomes at 30 months. <i>Archives of Pediatrics &amp; Adolescent Medicine</i> . 160(8):793-800, 2006. (クリティーク: 白石三恵)
	大田えりか	Takimoto H. Mito N. Umegaki K. Ishiwaki A. Kusama K. Abe S. Yamawaki M. Fukuoka H. Ohta C. Yoshiike N. Relationship between dietary folate intakes, maternal plasma total homocysteine and B-vitamins during pregnancy and fetal growth in Japan. <i>European Journal of Nutrition</i> . 46(5):300-6, 2007 (クリティーク: 島村珠枝)
10月30日	岡本美香子	Dolan LM. Hosker GL. Mallett VT. Allen RE. Smith AR. Stress incontinence and pelvic floor neurophysiology 15 years after the first delivery. <i>BJOG: An International Journal of Obstetrics &amp; Gynaecology</i> . 110(12):1107-14, 2003. (クリティーク: 酒井優)
	新井志穂	M1 修論研究計画: 製造業における在日外国人労働者の食文化と労働環境が食習慣に与える影響
	西岡笑子	働く母親の復職時期と母乳育児に関する研究
11月6日	村山洋史	Molarius A. Berglund K. Eriksson C. Lambe M. Nordstrom E. Eriksson HG. Feldman I. Socioeconomic conditions, lifestyle factors, and self-rated health among men and women in Sweden. <i>European Journal of Public Health</i> . 17(2):125-33, 2007. (クリティーク: 成瀬昂)
	岡本美香子 馬場千恵	M1 修論研究計画: 妊娠後期～産後4か月にかけての腹圧性尿失禁の実態 育児を行う母親の母親役割肯定感の要因と肯定感を促す支援(仮)
11月13日	西岡笑子	Su LL. Chong YS. Chan YH. Chan YS. Fok D. Tun KT. Ng FS. Rauff M. Antenatal education and postnatal support strategies for improving rates of exclusive breast feeding: randomised controlled trial. <i>BMJ</i> . 335(7620):596, 2007. (クリティーク: 新井志穂)
	島村珠枝 酒井優	M1 修論研究計画: 接触者調査における保健師の看護技術の明確化 農村部高齢者における膝痛予防事業の効果

月 日	担 当	内 容
11月20日	春名めぐみ 白石三恵 成瀬昂	Biro MA. Waldenstrom U. Brown S. Pannifex JH. Satisfaction with team midwifery care for low- and high-risk women: a randomized controlled trial. <i>Birth</i> . 30(1):1-10, 2003. (クリティク:岡本美香子) M1 修論研究計画:産後抑うつ状態と血中ドコサヘキサエン酸(DHA)・エイコサペンタエン酸(EPA)濃度との関連 介護保険利用者における訪問看護の利用に関するコンジョイント分析を用いた調査研究
11月27日	中山香映 村山洋史 渡邊麻衣子 関根綾希子	D1 博論研究計画:分娩時の産婦の声の変化・音響分析による検討(仮) D2 博論進捗状況報告:地域におけるインフォーマル組織とのネットワーク体制構築に関する研究-地域包括支援センターにおけるネットワークづくり- M2 修論進捗状況報告:心臓血管術後の患者会会員のセルフケア能力と健康関連QOL 農村部の中年期男性の食生活とその関連要因
12月4日	野尻直美 鈴木樹美 横山由美 大田えりか	M2 修論進捗状況報告: 要介護認定者における介護費と医療費の給付実態と在宅療養移行時の課題-経済評価の視点から過疎地域北海道A町の事例を通して-(仮) 病棟看護師の退院支援教育プログラムの作成とその効果 D1 博論研究計画:ダウン症候群の子どもを出産した母親への看護ケア-出産後の母親の思いの過程と行動に影響を及ぼす要因- D2 博論進捗状況報告:Prepregnancy body mass index and pregnancy weight gain: associations with perinatal outcome.
12月11日	麦田真秀人 桑原雄樹	卒論進捗状況報告:育児期の夫婦間における生活習慣と健康度の検討 退院前後の訪問看護ステーションにおける業務の実態調査
12月18日	中山香映 松永篤志 戸村ひかり	Borquez HA. Wieggers TA. A comparison of labour and birth experiences of women delivering in a birthing centre and at home in the Netherlands. <i>Midwifery</i> . 22(4):339-47, 2006. (クリティク:横山由美) M2 修論進捗状況報告:日本人ゲイ男性のゲイアイデンティティを形成する過程とその形成過程に影響を与える要因についての質的研究 退院支援看護師の専門技術の明確化 -医療ニーズの高いケースへの在宅復帰支援に焦点をあてて-
1月8日		修論サポート
1月22日 1月29日	鈴木樹美 関根綾希子 戸村ひかり 野尻直美 渡邊麻衣子 松永篤志	修士論文発表予行
2月5日	白石三恵 西岡笑子	M1 修論研究計画:妊娠末期におけるエネルギー摂取量, 体脂肪量と血中ケトン体濃度, 呼吸商との関連 母乳育児継続に関連する要因と有効な支援に関する研究
2月19日	成瀬昂 岡本美香子	M1 修論研究計画:高齢者の在宅ケアにおける看護ケアの必要量調査-利用者特性による看護ケア必要量の比較- 産後のインナーユニットの状態と尿失禁症状の関連
3月4日	島村珠枝 新井志穂	M1 修論研究計画:在宅療養中の多剤耐性結核患者が療養生活で感じていること 製造業に勤める日系ブラジル人の移住と仕事との関連が精神的健康に与える影響
3月18日	馬場千恵	M1 修論研究計画:都市部で育児を行う母親の自己効力感と関連する要因

## (2) 母性看護学・助産学研究報告会

平成19年度、報告会において実施されたテーマおよび報告者は以下の通りである。

前期 2007. 4/24～ 7/10, 後期 9/18～ 2008. 3/11

月 日	担 当	内 容
4月24日	春名めぐみ	研究報告：乳児を抱える母親への健康生活プログラムとその効果 -地域でのランダム化対照試験-
5月8日	村山陵子	研究報告：妊娠の進行に伴う睡眠姿勢の変化と呼吸・循環器系への影響
5月15日	渡辺悦子	Lobstein T. Millstone E. PorGrow Research Team. Context for the PorGrow study: Europe's obesity crisis. <i>Obesity Reviews</i> . 8 Suppl 2:7-16, 2007.
5月22日	大田えりか	D2 博論進捗状況報告：ベトナムにおける妊婦の Body Mass Index 別の体重増加による周産期リスク調査
5月29日	松崎政代	Noia G. Littarru GP. De Santis M. Oradei A. Mactromarino C. Trivellini C. Caruso A. Coenzyme Q10 in pregnancy. <i>Fetal Diagnosis &amp; Therapy</i> . 11(4):264-70, 1996. Noia G. Romano D. De Santis M. Mariorenzi S. Caruso A. Mancuso S. Coenzyme Q10 fetal plasma levels. <i>Fetal Diagnosis &amp; Therapy</i> . 13(2):127-30, 1998.
6月5日	中山香映	Albers LL. Reducing genital tract trauma at birth: launching a clinical trial in midwifery. <i>Journal of Midwifery &amp; Women's Health</i> . 48(2):105-10, 2003.
6月12日	西岡笑子	Seto M. Morimoto K. Maruyama S. Effects of work-related factors and work-family conflict on depression among Japanese working women living with young children. <i>Environmental Health and Preventive Medicine</i> . 9:220-7, 2004.
6月19日	白石三恵	Erkkola M. Karppinen M. Javanainen J. Rasanen L. Knip M. Virtanen SM. Validity and reproducibility of a food frequency questionnaire for pregnant Finnish women. <i>American Journal of Epidemiology</i> . 154(5):466-76, 2001.
7月3日	本田由佳	日本肥満学会発表まとめ：思春期女性の初経発来と体組成、体格、骨密度との関連性および体型意識についての検討
7月10日	岡本美香子	Levy V. Protective steering: a grounded theory study of the processes by which midwives facilitate informed choices during pregnancy. <i>Journal of Advanced Nursing</i> . 29(1):104-12, 1999.
9月18日	本田由佳	研究報告：分娩直前のベトナム人と日本人妊婦の体格・インピーダンス・体脂肪率の比較
10月2日	西岡笑子	M1 修論研究計画：母乳育児継続支援に関する研究
10月17日	岡本美香子	M1 修論研究計画：妊娠から産褥期にかけての内部筋力と腹圧性尿失禁発生の関連
10月23日	渡辺悦子	学会予行：核家族世帯における父の同居・母の就業状態別にみた母親と幼児の生活と肥満の現状
10月30日	白石三恵	M1 修論研究計画： 産後疲労に影響を及ぼす要因と血清プロラクチン・エストロゲンとの関連
11月6日	松崎政代	学会予行：Ubiquinol and ubiquinone levels in umbilical cord blood of healthy newborns and venous blood of their mothers
	春名めぐみ	Increased serum Coenzyme Q <sub>10</sub> during pregnancy correlates to birthweight
11月13日	中山香映	Van den Bussche E. Crombez G. Eccleston C. Sullivan MJ. Why women prefer epidural analgesia during childbirth: the role of beliefs about epidural analgesia and pain catastrophizing. <i>European Journal of Pain</i> : 11(3):275-82, 2007.

月 日	担 当	内 容
11月20日	松崎政代	Todoroki Y. Tsukahara H. Ohshima Y. Shukunami K. Nishijima K. Kotsuji F. Hata A. Kasuga K. Sekine K. Nakamura H. Yodoi J. Mayumi M. Concentrations of thioredoxin, a redox-regulating protein, in umbilical cord blood and breast milk. <i>Free Radical Research</i> . 39(3):291-7, 2005.
12月3日	中山香映	学会予行： 妊娠，分娩，産褥期の血液および唾液中 13, 14-dihydro-15-keto-prostaglandin F2 $\alpha$ (PGFM) の推移
	大田えりか	生体インピーダンス法による妊娠中と産後1か月の体脂肪量の推移およびその関連要因
	春名めぐみ	妊娠中の母体血中ケトン体上昇の関連要因についての検討
12月4日	白石三恵	M1 修論計画：妊娠後期から産後1か月の抑うつ状態，免疫状態との関連
12月18日	西岡笑子	M1 修論研究計画：働く母親の母乳育児継続支援についての研究
12月11日	岡本美香子	M1 修論研究計画：中高年女性の腹圧性尿失禁の有無と骨盤底筋群・体幹挙上筋（腹横筋，多裂筋）の筋力・筋厚の関係
2月19日	大田えりか	学会予行：Risk factors of healthy pregnant women associated with occurrence of low birth weight infants in Japan.
	白石三恵	M1 修論研究計画：妊娠期の食生活と精神的健康度との関連
3月4日	中山香映	学会予行：妊娠，分娩，産褥期の唾液中 13, 14-dihydro-15-keto-prostaglandin F2 $\alpha$ (PGFM) の推移
	西岡笑子	M1 修論研究計画： 母乳育児継続に関連する要因と費用に関しての研究～地域比較による検討～
3月11日	村山陵子	Gilleard WL. Crosbie J. Smith R. Static trunk posture in sitting and standing during pregnancy and early postpartum. <i>Archives of Physical Medicine &amp; Rehabilitation</i> . 83(12):1739-44, 2002.
	岡本美香子	M1 修論研究計画：産後1～6か月までの尿失禁の有病率の経時的変化と産後1か月時点でのインナーユニットの状態と腹圧性尿失禁症状の関連

### (3) 研究会・勉強会

#### ■ シフラの会

	月 日	講 師	演 題
第6回	1月22日(火)	池畑亜由美先生 (NPO 法人ジュース理事)	自然体験活動から生まれる女性の笑顔

#### ■ 「助産師外来」勉強会

	月 日	演 題	担 当 者
第1回	7月31日(火)	病院・診療所の助産師外来	修士1年 西岡笑子，白石三恵，岡本美香子
第2回	8月24日(金)	東大病院の助産師外来の現状と課題	修士1年 西岡笑子，白石三恵，岡本美香子
第3回	11月1日(木)	東大病院の妊婦健診システムの現状と課題	修士1年 西岡笑子，白石三恵，岡本美香子

#### (4) 研究プロジェクト

春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子, 福岡秀興, 村嶋幸代, SeonAe Yeo

乳児を抱える母親への健康生活プログラムとその効果—地域でのランダム化対照試験—  
平成 17～19 年度 科学研究費補助金 基盤研究(B)

春名めぐみ, 村山陵子

Body Reconstruction プログラム開発に関する TR 実践とその評価

平成 19～22 年度科学研究費補助金 基盤研究(A)「看護理工学を基盤としたトランスレーショナルリサーチシステムの構築とその評価」(研究代表者：真田弘美教授) 分担研究

本田京子, 大友英子, 山田典子, 山崎めぐみ, 松本弘子, 高島志穂, 関口恵理子, 鈴木美季子, 村山陵子, 春名めぐみ, 岡本美香子, 村嶋幸代

大学病院における「助産師による外来」を通じた臨床と大学教育とのコラボレーション—リスクレベルに応じた妊産褥婦への支援を目指して—  
平成 19 年度日本看護協会出版会 研究助成

村山陵子

妊娠中の睡眠姿勢と呼吸・循環器系への影響の研究

平成 19 年度 財団法人 姿勢研究所 研究助成 共同研究者 (研究代表者：青木和夫)

久保田富夫, 木暮貴政, 村山陵子

体圧分散マットレスが睡眠に及ぼす影響

埼玉県立大学 パラマウトベット株式会社 受託研究

渡辺悦子, 春名めぐみ

妊娠高血圧症候群予防のための生活指導内容の提案 酸化ストレスマーカーを指標として  
平成 19～20 年度科学研究費補助金 萌芽研究

#### (5) 研究交流促進

- 1) 日本学術振興会 論博プログラム (平成 16 年度～20 年度)

Pham Quynh Huong 氏 (ベトナム) 受け入れ協力

- 2) Research Council of Norway, Bilateral research Japan & Norway 海外共同研究

The relationship between postpartum depression, breastfeeding, DHA and seafood consumptions.

(主任研究者：ノルウェイ Stavanger 大学 教授 Elisabeth Severinsson)

■ 平成 19 年 8 月 27 日(月)～9 月 5 日(水)

ノルウェイ Stavanger 大学での研究発表, リサーチミーティング, およびスタバンゲル大学病院訪問 (春名めぐみ)

研究発表タイトル

Weight gain during pregnancy: Focus groups of pregnant women and health care providers in Tokyo.

■ 平成19年10月6日(土)～10月13日(土)

ノルウェー Stavanger 大学 教授 Elisabeth Severinsson 先生と大学院生 Kristin Akerjordet (博士課程) が来日, リサーチミーティング・研究報告会開催

3) 韓国 高年妊婦プロジェクト (主任研究者: Soonchunhyang 大学 准教授 Jeungim Kim)

平成19年10月17日(水)～10月19日(金) 韓国ソウル大学での会議に参加  
(春名めぐみ)

4) その他

■ 平成19年5月23日(水)～5月25日(金)

米国 North Carolina 大学 Chapel Hill 校 准教授 余善愛先生来日, 研究指導

■ 平成19年8月5日(日)～8月8日(水)

米国 North Carolina 大学 Chapel Hill 校 Asian Scholars Writing for Publication Seminar 参加 (春名めぐみ, 大田えりか, 中山香映)

■ 平成19年12月4日(火)～12月7日(金)

米国 North Carolina 大学 Chapel Hill 校 准教授 余善愛先生来日, 研究指導

## 5. 教育活動

### (1) 学部講義

1) 母性看護学 3年後期 I-1・2

担当: 春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子

近藤 好枝 (非常勤講師: 慶応義塾大学看護医療学部 教授)

石川 紀子 (非常勤講師: 総合母子保健センター愛育病院 看護師長)

三宅はつえ (非常勤講師: もものみ助産院・出張開業助産師)

兵藤 博信 (東大病院女性診療科・産科医師)

山田 典子 (東大病院女性診療科・産科助産師)

目的: 人間のライフサイクルの中で生殖に関与する期間のうち, 妊娠, 分娩, 産褥各期を中心に, その基礎と健康問題のアセスメント及び看護の計画, 実施, 評価法を学習する。

参考書: 系統看護学講座 母性看護学 [1] [2] 医学書院

### 講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
10月22日(月)	9:00~12:10	母性看護概論・妊娠期の看護	春名
10月25日(木)	16:20~17:50	分娩期の経過(正常・異常)	兵藤
10月29日(月)	9:00~12:10	分娩期の看護	山田
11月1日(木)	16:20~17:50	産褥期の異常	兵藤
11月5日(月)	9:00~12:10	自然出産と助産師の仕事	三宅
11月8日(木)	16:20~17:50	産褥期の経過と看護	渡辺
11月12日(月)	9:00~12:10	新生児(正常・ハイリスク)の看護	近藤
11月15日(木)	16:20~17:50	妊産褥婦, 新生児の事例展開①	村山
11月22日(木)	16:20~17:50	施設内分娩における助産師の役割(1)	石川
11月29日(木)	16:20~17:50	施設内分娩における助産師の役割(2)	石川
12月6日(木)	16:20~17:50	妊産褥婦, 新生児の事例展開②	村山

#### 2) 看護学の基礎と展開(総合科学:人間・環境一般)

対象:駒場学生

### 講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
6月28日(木)	16:20~17:50	マタニティーサイクルにおける看護の役割	春名
7月5日(木)	16:20~17:50	女性の健康を守る看護	村山

#### 3) 健康科学・看護学概論

対象:2年生(進学予定学生)

期日:4学期 平成20年1月23日

内容:「出産をめぐる状況とニーズ」(村山)

#### 4) 助産学Ⅰ 4年前期Ⅰ-2・Ⅲ(助産学教育課程履修者必修)

目的:助産学の基本概念および助産師の役割と責務を理解し,国内外におけるこれからの助産師の役割を考える視点を養う。助産学の展開に必要な性・生殖系の病態生理や妊婦・胎児の成長発達診断方法,不妊症,生殖補助医療などの医学的知識を学ぶ。

参考書:助産学講座 1. 助産学概論, 2. 生殖の形態・機能. 医学書院

### 講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
5月14日(金)	9:00~10:30	概論Ⅰ 助産学の基本的概念・理念と助産の歴史	春名
5月14日(金)	10:40~12:10	概論Ⅱ 助産師の役割と機能および責務	春名
9月13日(木)	9:00~12:10	胎児の生理・異常, 妊娠初期の異常	M2 講義
9月14日(金)	9:00~12:10	異常妊娠, 不妊症	M2 講義

#### 5) 助産学Ⅱ 4学年前Ⅲ・後(助産学教育課程履修者必修)

目的: 周産期における正常・異常を判断する技術・能力, 助産師にとって重要な相談・教育・援助活動ができる能力を養う。また助産学の対象とする女性の健康への理解を深める。

参考書: 助産学講座 2. 生殖の形態・機能 5. 助産診断・技術学Ⅰ 6. 助産診断・技術学Ⅱ. 医学書院

### 講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
9月7日(金)	9:00~10:30	遺伝相談・不妊治療における助産ケア①	安藤
9月7日(金)	10:40~12:10	遺伝相談・不妊治療における助産ケア②	安藤
9月7日(金)	13:00~16:10	事例検討	安藤
10月10日(水)	13:00~14:30	新しい女性医療の実践の現場から①	対馬
10月10日(水)	14:40~16:10	新しい女性医療の実践の現場から②	対馬
10月10日(水)	16:20~17:50	新しい女性医療の実践の現場から③	対馬

非常勤講師: 対馬ルリ子 (ウイミンズ・ウェルネス銀座クリニック 院長)  
安藤 広子 (岩手県立大学看護学部看護学科 教授)

#### 6) 助産学Ⅳ 4年 前期Ⅲ・後(助産学教育課程履修者必修)

目的: 産婦, 褥婦および児の健康状態を診断し, 安全かつ満足度の高い分娩, 産褥経過をたどるよう援助できる能力・技術を養う。

参考書: 助産学講座 4. 乳幼児の成長発達・新生児の管理, 6. 助産診断・技術学Ⅱ. 医学書院

## 講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
5月18日(月)	9:00~16:10	授乳期の援助	井村
11月19日(月)	9:00~14:30	分娩期アセスメント：経過の予測診断技術	村山
11月19日(月)	14:40~17:50	分娩期のケア：根拠にもとづくケア	村山
11月20日(火)	9:00~12:10	事例による助産計画の展開	渡辺
11月20日(火)	13:00~14:30	分娩介助技術①	村山
11月20日(火)	16:20~17:50	分娩介助技術演習Ⅰ	村山・渡辺
11月21日(水)	9:00~16:10	分娩介助技術演習Ⅱ：正常な経過をたどる場合 (フリースタイル分娩)	中根
11月22日(木)	9:00~12:10	分娩介助技術②	山田・杉山*
11月22日(木)	13:00~16:10	分娩介助技術演習Ⅱ	村山・渡辺

非常勤講師：

井村 真澄 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部 リプロダクティブヘルス看護学 教授)

中根 直子 (日本赤十字医療センター 分娩室長)

\*：山田典子 (東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 主任副看護師長)

杉山幸枝 (東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 助産師)

### 7) 助産管理学 4 学年夏休み (助産学教育課程履修者必修)

目的：助産業務を安全に・円滑に遂行するために必要な助産管理の原理と技法，法的側面について知識を養う。

参考書：助産学講座 8. 助産管理 医学書院

助産所開業マニュアル 日本助産師会刊

## 講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
8月24日(金)	9:00~12:10	助産管理とは：管理の基本概念，法的側面 リスクマネジメント，助産師のエンパワーメント	春名
8月28日(火)	13:00~14:30	病院における助産管理①	影山
8月28日(火)	14:40~16:10	病院における助産管理②	影山
8月30日(木)	9:00~10:30	助産所における助産管理①	杉山
8月30日(木)	10:40~12:10	助産所における助産管理②	杉山

非常勤講師：杉山富士子 (ファン助産院 院長)

影山 初子 (総合母子保健センター愛育病院 看護部長)

## (2) 学部実習

### 1) 母性看護学実習 (2 単位)

対象：4 年生 4 名

担当：春名めぐみ，村山陵子，渡辺悦子

目的：妊婦，産婦，褥婦および新生児とその家族を理解し，対象に応じた看護を實踐できる知識・技術を養う。

期間：平成 19 年 6 月 25 日～7 月 6 日

実習施設：東京大学医学部附属病院

入院棟 A 3 階南 女性診療科・産科病棟・NICU

女性診療科・産科外来

実習時間：8：00～16：00（外来 8：30～）

### 2) 助産学実習 I (1 単位)

対象：4 年生 助産学教育課程履修者

担当：春名めぐみ，村山陵子，渡辺悦子

目的：助産院および病院における助産業務管理の實際から，助産管理・運営，助産領域におけるケア提供の場の違いによる特徴や役割を理解し，対象者の立場から求められるサービス提供のあり方，消費者とのエンパワーメント，他職種との連携について考える視点を養う。

期間：平成 19 年 8 月 25 日（土）～ 8 月 31 日（金）

実習施設：ファン助産院

総合母子保健センター 愛育病院

### 3) 助産学実習 II (7 単位)

対象：4 年生 助産学教育課程履修者

担当：春名めぐみ，村山陵子，渡辺悦子

目的：妊娠・分娩・産褥・新生児・育児期における母子および家族に対して，健康状態をアセスメントし，適切なケアを實踐するための，基本的な知識，技術，態度を養う。

期間：産褥継続実習 平成 19 年 7 月～平成 20 年 1 月

分娩介助実習，産褥・新生児実習

平成 19 年 11 月 26 日（月）～12 月 21 日（金） 4 週

平成 20 年 1 月 7 日（月）～ 1 月 25 日（金） 3 週 計 7 週間

妊婦外来実習 平成 19 年 11 月 29 日（木）～12 月 7 日（金）

実習施設：東京大学医学部附属病院 産科（新入院棟 3 階南フロア），女性診療科・産科外来

4) 保健学実験・検査法実習 (ラボメソ)

対象：3年生

担当：渡辺悦子

目的：人の「体」を統合体として捉えることができるよう人体の形態・機能を評価する方法を理解し習得する。

期間：平成19年9月19日

(3) 大学院特論

1) 母性看護学・助産学特論 I

担当：春名めぐみ / 村嶋幸代

高橋真理 (非常勤講師：北里大学看護学部 教授)

目的：研究を推進するための基礎的能力を育成する。

母性看護学・助産学分野における現在の動向を把握し、時代のニーズに対応できる基礎的能力を育成する。

テキスト：Fink, Arlene: Conducting research literature reviews: From the Internet to paper (Second edition). 2005.

主な参考書：

- ・Sue Proctor, Mary Renfrew: Linking Research and Practice in Midwifery. 2000
- ・前原澄子監訳：助産学研究入門 エビデンスにもとづく実践をめざして

日程	テーマ	担当
4月19日(木)	オリエンテーション, 打ち合わせ	春名
26日(木)	テキスト輪読 1. Reviewing the Literature: Why? For Whom? How? <白石>	春名
5月10日(木)	テキスト輪読 2. Searching and Screening: The Practical Screen and Methodological Quality (Part 1: Research Design and Sampling) <西岡>	春名
16日(水)	テキスト輪読 3. Searching and Screening: The Practical Screen and Methodological Quality (Part 2: Data Collection, Interventions, Analysis, Results, and Conclusions) <岡本>	春名
25日(金)	テキスト輪読 4. Doing the Review <春名> Uniform Data Collection: The Literature Review Survey Questionnaire [p165~] <渡辺>	春名
31日(木)	テキスト輪読 5. What Did You Find? Synthesizing Results <松崎> What to Look for in a Meta-Analysis: The Seven Steps [p202~] <村山>	春名
6月7日(木)	Women's Health & Research 1	高橋
14日(木)	Women's Health & Research 2	高橋

## 2) 母性看護学・助産学特論Ⅱ

担当：春名めぐみ / 村嶋幸代

島田 三恵子 (非常勤講師：大阪大学大学院 教授)

我部山キヨ子 (非常勤講師：京都大学大学院 教授)

目的：研究を推進するための基礎的能力を育成する。

母性看護学・助産学分野における現在の動向を把握し、時代のニーズに対応できる基礎的能力を育成する。

根拠に基づく医療・看護 (Evidence-based Medicine / Nursing) と文献レビューについての基礎的な考え方および方法論について、演習を通して学ぶ。

主な参考書：

- ・S. B. Hulley (木原正博訳). 医学的研究のデザイン. メディカルインテリジェンス社. 1999.
- ・古谷野直, 長田久雄. 実証研究の手引き—調査と実験の進め方・まとめ方. (株)ワールドプランニング. 1998.
- ・石井京子, 多尾清子. ナースのための質問紙調査とデータ分析. 医学書院. 2002.
- ・斉尾 武郎. EBM 楽しい演習帳. 金芳堂. 2004.
- ・堀内成子, 八重ゆかり, 松本直子. EBM 実践のための基本ステップ. EB Nursing, 2(4) 404-417, 2002.
- ・Arlene Fink. Conducting Research Literature Reviews -From the Internet to Paper- (2nd edition). 2005.

日程	時間	講義題目	担当
9月27日(木)	13:00~14:30	オリエンテーション, EBNの基本と考え方	春名
10月4日(木)	13:00~16:10	演習1	春名
12日(金)	13:00~16:10	演習2	春名
25日(木)	13:00~14:30	文献レビューの基本と方法	春名
11月1日(木)	13:00~16:10	演習3	春名
22日(木)	10:30~17:50	Research questionと研究計画 そして論文を仕上げるまで	島田
2月21日(金)	13:00~17:50	周産期における量的研究手法の基礎と応用	我部山

## 6. 学内外での活動

### (1) 学内の活動・役割

春名めぐみ	化学物質管理担当者	平成 15 年 4 月～
村山陵子	教育委員 看護学校・助産婦学校記念碑建立プロジェクト	平成 16 年 4 月～ 平成 17 年 9 月～
渡辺悦子	倫理指導委員	平成 16 年 4 月～

### (2) 学外での活動・役割

春名めぐみ	日本母性衛生学会総務部幹事・査読委員 第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 (会計) 周産期メンタルヘルス研究会 (PSI-JAPAN) 理事	平成 15 年 12 月～ 平成 19 年 1 月～ 平成 19 年 1 月～ 平成 19 年 4 月～
村山陵子	日本人間工学会評議員 第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 (広報)	平成 18 年 12 月～ 平成 19 年 1 月～
渡辺悦子	第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 (渉外)	平成 19 年 1 月～
松崎政代	日本助産学会学術集会 発表論文査読委員	平成 20 年 3 月
大田えりか	順天堂大学順天堂大学医療看護学部「医療人類学」(非常勤講師)	平成 19 年 5 月, 12 月

### (3) その他 (学内外における講義・講演など)

村山陵子	2007 東京大学オープンキャンパス医学部コース 模擬講義 「人の誕生, 誕生を支える科学」 医学部教育研究棟 14 階鉄門記念講堂 2007 年 8 月 1 日	
松崎政代, 中山香映	「フリースタイル出産」アドバイザー, 共同研究担当 東京大学医学部附属病院産科病棟 平成 19 年～	

西岡笑子

「職業研究会」 「助産師の職業についての紹介」 (1 学年対象)  
西武学園文理中学校  
2007 年 11 月 24 日

「性教育」 「助産師から皆さんにお伝えしたいこと」 「助産師の職業についての紹介」  
(3 学年対象)  
「思春期の子を持つ保護者への性教育」 (3 学年保護者対象)  
東京都武蔵村山第一中学校  
2008 年 3 月 13 日

本田由佳

(財) 女性と仕事の未来館 セミナー 講師 (パネリスト)  
「女性と私のキャリアスタイル vol.2 楽しむ気持ちがチャンスを作る！」  
女性と仕事の未来館  
平成 18 年 12 月 8 日

NPO 法人ジュース セミナー 講師  
「Body Check Clinic 女性のからだと健康」  
妙高緑苑荘 (東京家政大学郊外施設)  
平成 19 年 3 月 8 日

(社) 大阪府計量協会 特別講演会 講師  
「メタボリックシンドローム」  
薬業年金会館  
平成 19 年 6 月 21 日

## 7. 教室日誌

2007年	4月5日	健康科学・看護学科進学式 助産学教育課程 オリエンテーション
	4月10日	地域看護学教室, 母性看護学・助産学教室合 同ウェルカムパーティー
	4月19日～6月14日	母性看護学・助産学特論Ⅰ 講義
	5月14日～9月14日	助産学Ⅰ 講義
	5月18日～11月22日	助産学Ⅳ 講義・演習
	5月23日～5月25日	米国 North Carolina 大学 Chapel Hill 校 准教授 余善愛先生来日
	6月21日～6月22日	全国助産教育専任者会議
	6月28日, 7月6日	看護学の基礎と展開 (総合科学: 人間・環境一般) 講義
	7月10日～7月21日	母性看護学実習
	7月11日	平成18年度第1回病院看護部および健康科学・看護学 科看護系教員連絡会議
	8月5日～8月8日	米国 North Carolina 大学 Chapel Hill 校 Asian Scholars Writing for Publication Seminar
	8月24日～8月30日	助産管理学 講義
	8月25日～8月31日	助産学実習Ⅰ
	9月7日～10月10日	助産学Ⅱ 講義
	10月6日～10月13日	ノルウェイ Stavanger 大学 教授 Elisabeth Severinsson 先生と大学院生 Kristin Akerjordet (博 士課程) 来日
	10月22日～12月6日	母性看護学 講義
	12月4日～12月7日	余善愛先生来日
	12月6日	助産学教育課程説明会
	12月7日, 8日	第27回日本看護科学学会学術集会 (大会長: 村嶋幸代)
	12月11日～12月22日	助産学実習Ⅱ①
	12月12日	平成18年度第2回病院看護部および健康科学・看護学 科看護系教員連絡会議
2008年	1月7日～1月25日	助産学実習Ⅱ②
	1月22日	第6回 シフラの会開催
	1月23日	健康科学・看護学概論 講義
	1月31日, 2月1日	修士論文発表会
	2月1日～2月8日	助産学教育課程出願受付
	2月12日, 13日	卒業論文発表会
	2月19日	助産学教育課程選考面接 (3名)
	3月24日	助産学教育課程学生 送別会・同窓会
	3月26日	母性看護学・助産学教室 大掃除

## 8. 教室員名簿

<2007 年度>

職名	氏名	勤務先 名称・住所
教授 (兼任) 2003. 5. 21～	村嶋 幸代	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 地域看護学分野
講師 2002. 6. 16～	春名 めぐみ	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
講師 2003. 10. 1～	村山 陵子	同 上
助教 2004. 4. 1～	渡辺 悦子	同 上
非常勤講師 (大学院) 2002. 10～	高橋 真理	北里大学 看護学部 〒228-0829 神奈川県相模原市北里 2-1-1
非常勤講師 (大学院) 2003. 4～2006. 3	堀内 成子	聖路加看護大学 看護学部 〒104-0044 東京都中央区明石町 10-4
非常勤講師 (大学院) 2003. 4～	島田 三恵子	大阪大学大学院 医学系研究科 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-7
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2003. 4～	近藤 好枝	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 4411
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2004. 4～2007. 3	村上 睦子	日本赤十字社医療センター 看護部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-22
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2002. 10～	三宅 はつえ	もものみ助産院 (出張開業) 〒306-0023 茨城県古河市本町 4-7-1-2-503
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2007. 4～	石川 紀子	恩寵財団母子愛護会愛育病院産婦人科外来 〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8
非常勤講師 (学部/助産学) 2005. 4～	安藤 広子	岩手県立大学 看護学部 〒020-0193 岩手県滝沢村滝沢字菓子 152-52
非常勤講師 (学部/助産学) 2006. 4～	井村 真澄	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 〒250-8858 神奈川県小田原市城山 1-2-25
非常勤講師 (学部/助産学) 2005. 4～	対馬 ルリ子	フィーメールガーデン ウィミンズ・ウェルネス 銀座クリニック 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-7-10 銀座富士ビル 3 階
非常勤講師 (学部/助産学) 2005. 4～	中根 直子	日本赤十字社医療センター 分娩室 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-22
非常勤講師 (学部/母性看護学) 2006. 4～	兵藤 博信	東京大学 医学部産科婦人科学教室
非常勤講師 (学部/母性看護学, 助産学) 2005. 4～	本田 京子	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
非常勤講師 (学部/助産学) 2005. 4～	山田 典子	同 上
大学院生 (博士3年) 2003. 4～	松崎 政代	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
大学院生 (博士2年) 2004. 4～	大田 えりか	同 上
大学院生 (博士1年) 2005. 4～	中山 香映	同 上
大学院生 (修士1年) 2005. 4～	岡本 美香子	同 上

職名	氏名	勤務先 名称・住所
大学院生 (修士1年) 2005.4～	白石 三恵	同 上
大学院生 (修士1年) 2005.4～	西岡 笑子	同 上
大学院生 (休学中) 2006.4～	鈴木 美恵子	同 上
研究生 2004.4～	本田 由佳	(株)タニタ 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
事務補佐員 2006.7～	渡部 由美	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
学術研究支援員 2005.10～	櫻井 人希	同 上

---

母性看護学・助産学分野年報	第6号
発行年月日:	2008年3月31日
発行責任者:	〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野 春名めぐみ・村山陵子 / 村鳴幸代 Tel & Fax. 03-5841-3396

---